

JFA 第 26 回全日本 U-15・第 11 回全日本 U-15 女子フットサル選手権大会

和歌山大会開催における新型コロナウイルスへの対応について

1. 施設の利用について

- 本大会は、無観客で開催する。(親・兄弟やチーム登録役員以外のスタッフ等も入館不可。)
- 入り口 1 ヶ所、出口 1 ヶ所に限定する。
- チームごとに利用時間を設定し、入館を制限する。
(1 試合の間に入館できるのは、「当該チーム」「運営担当者」「審判員・記録員・ボールパーソン(以下 BP)」のみである。)
- フットサル委員会にて消毒液を設置する。
- 体育館内(試合中を除く)はマスクの着用義務づける。
- 入口での検温を実施する。(37.5 度以上は入館不可)
- チームごとに名簿を作成し、健康チェックリストの提出をおこなう。(別紙)
- 着替えを観客席にて素早くおこない、更衣室・シャワー室の使用を禁止する。
(女子選手は更衣室を使用する。ただし、使用後に必ず消毒等を行う。)
- その他体育館の指示に従う。
- 待機時間は、車や体育館施設外で待機し、駐車場、体育館入口等の屋外での待機は禁止する。

2. 運営について

- フロア内の両ベンチ、オフィシャル席、体育館の入出入口に消毒液を設置する。
- ベンチは間隔をあけて密にならないように設置する。
- 運営担当チームは試合終了後にベンチ等共有物の消毒をおこなう。
(タイマー等の機材、ボールの消毒はおこなわない。)

3. MCM について

- 密とならない場所(体育館外や風通りのよい密閉でない場所)で実施する。
- 必ずマスク着用をして出席する。
- 出席者は最小限とし、両チーム責任者 1 名、審判員(主審) 1 名、運営 1 名の 4 名にて簡潔に行う。
- MCM 終了後の握手等はおこなわない。
- キックオフをおこなうチームを決定するコイントスは、MCM 時に実施する。

4. 試合前のアップについて

- 試合前のアップは、決められた時間のフロア内のみとし、体育館の外でのランニングやストレッチ、ボールを使ったアップ等の行為は禁止する。
- 入場時間を厳守する。

5. 試合中について

- 試合前の選手入場は、両チーム試合開始時の選手 5 名と主審・第二審判のみとする。(計 12 名)
- 試合前後の相手チーム、審判団への握手は実施せず、ピッチ中央で一礼のみおこなう。
- チームによる円陣は禁止する。
- 倒れた選手に手を貸さないようにする。(担架を必要とする場合は別である。)
- 得点時やファインプレー時等における、ハイタッチ、抱擁はおこなわない。
- 交代要員は、必ずマスクを着用し、交代してベンチに戻った選手も、呼吸が整い次第マスクを着用する。
- 試合中のアップは密にならないようにシート後方で行う。(アップゾーンは作らない。)
- フロア内では咳エチケットを守る。
- 交代時のピブス受け渡しはおこなわない。(競技規則に反するが、今年度の追加ルールとする。)
- 飲料水の回し飲みは不可とし、個人専用のものを使用する。
(飲水については要項・施設の利用規約に従う)
- ピッチ上で選手間や審判員と会話する際も、お互いの距離について配慮する。
- 試合前の集合写真の撮影は禁止する。

6. 審判員・記録員・BP について

- 主審・第二審判はホイッスルを使用せず、電子ブザーを使用する。
- 第 3 審判、タイムキーパー・BP はマスクを着用する
- 審判間の事前打合せや、試合後の反省会については、密にならないよう実施する。
- BP は手袋を着用する。(材質についての制限はなく、手首から先の全体が覆われるものを着用する。
また手袋は、各チームにて準備する。)

7. ゴミの廃棄について

- 例年通り、ゴミ袋は各チームにて準備し、チーム又は個人にて必ず回収し持ち帰る。
- 体育館を退出する際は、周辺のごみを収集する。(マスクや手袋を着用の上収集をおこない、ゴミは口を縛り密閉し、収集終了後は手洗いをおこなう。)

8. その他

- 体育館に入場した直後、試合開始直前、試合終了直後には必ず手洗いをおこなう。
- 試合会場への交通手段については、方法を問わないが、乗り合いで来る場合、密にならないようチームで検討する。
- 公共交通機関で来る場合は、移動中も必ずマスクを着用する。
- マスク、手袋を忘れた際は、フットサル委員会にて用意したものを、購入して使用する。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況、国、県等の動向により変更することもありますことをご承知ください。